

製品名: CD37 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80716**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	31.7kDa

抗原情報

遺伝子名	CD37
別名	GP52-40; TSPAN26; MGC120234
遺伝子 ID	951.0
SwissProt ID	P11049
免疫原	大腸菌で発現した CD37 の精製された組み換え断片。

背景

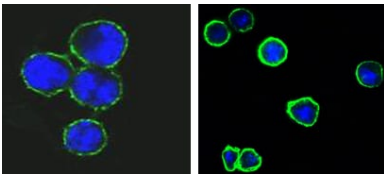
CD37 は、GP52-40、TSPAN26、MGC120234 としても知られています。Enterz タンパク質 NP_001035120。膜貫通型 4 スーパーファミリー（テトラスパニンファミリーとも呼ばれる）のメンバーです。これらのメンバーのほとんどは、4 つの疎水性ドメインの存

在を特徴とする細胞表面タンパク質です。これらのタンパク質は、細胞の発達、活性化、増殖、および運動性の制御に関するシグナル伝達を媒介します。このタンパク質は細胞表面糖タンパク質であり、インテグリンや他の膜貫通型 4 スーパーファミリータンパク質と複合体を形成することが知られています。T細胞-B細胞相互作用において役割を果たしている可能性があります。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。

研究分野

-

画像データ



CD37 マウス mAb (緑) を用いたメタノール固定 BCBL-1 細胞 (左) および L1210 細胞 (右) の共焦点免疫蛍光染色。膜局在を示す。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。